

京っこ・わらべお泊り～ZENRYOKU～

3月8日(土) ～ 3月9日(日)

IN うつぐみの郷

	午前	午後	夜
1日目	施設まで移動	密告中	福知山温泉入浴
2日目	室内レクリエーション 買い出し・おにぎりづくり	うつぐみタイム(清掃) 施設を出発・解散	

一日目： 冬の寒さも落ち着き、春らしい暖かい気候となりました。わらべの「わ」、京っこクラブのメンバーが一同に集まり、今日から二日間、存分に楽しんでいただきます。全員揃うと近くの公園に移動し、挨拶、グループ分けを行いました。今回のグループリーダーは、なんと活動ごとに変わり、自分達で選ぶことが出来ます。一緒に活動したい想いや、大好きな想いなど、様々な考えや想いから、リーダーを決めていきます。目的地のうつぐみの郷まで担当するリーダーが決まると、バスに再び乗り込み、“うつぐみの郷”へ向かいました。道中に自己紹介や談笑をして大いに楽しみました。施設に到着すると、まずは昼食を食べました。この時も別のリーダーを選びます。昼食を済ませると、日中はレクリエーションとして【密告中】を行いました。なかなか難しい内容ですが、みんなで確認し、声を掛け合い、協力しながら相手グループの番号を密告しました。あっという間に夕方になり、夕食をいただきました。今晚は【鍋】です。大きな寸胴にまとめて沢山作ったのですが、皆何度もおかわりをしてくれたので、半分以上なくなりました。残りは翌日のお昼に召し上がっていただきます。夕食でお腹いっぱいになった後は、“福知山温泉”に向かいました。みんなで温泉に入り、心身共に温まりました。帰りの車内では、眠そうにされている方もおられました。うつぐみに戻ると、みんなで協力して、布団を敷き、就寝準備に取り掛かりました。寝る前に翌日の昼食の【おむすび】にどんな具材を入れて、形にしようか話し合いました。就寝時間が来たので、ある程度で切り上げ、布団に入りました。一日様々な活動をしたので、すぐに寝息が聞こえてきました。



二日目： 日中は暖かかったですが、朝はまだまだ冷え込みました。しかし、そんな寒さをもものとしめないほど、起床から元気いっぱい動いておられました。朝食は定番の【パックスンド】です。作り方は半数以上の方がご存じでしたので、作り方を確認しながら、自分達で作りました。昨夜何度もおかわりをされていましたが、朝もおかわりをされ、お腹いっぱい召し上がっていました。食後は、昼食につくる【おむすび】の具材を購入するためのお金を得るために、ゲームを行いました。勝つと増え、負けると減ってしまうので、声を掛け、声援を送り、大盛り上がりでした。勝ったときの歓声は大きく、負けたときのフォローは次に繋がる温かいものでした。ゲームで得たお金を持って具材の買い出しに出掛けました。スーパーで買い物をする際、少しでも安いものを選ぶよう、工夫されていました。また、買い物に行かず、施設に残った方々は、畑の整地を手伝っていただきました。初めて畑の土を触る方もおられ、興味津々な様子でした。買い出し組が戻ると、早速具材を用意し、おむすびづくりに取り掛かりました。昨夜にスケッチ



したおむすびになるよう、具材や形を意識して、とても個性溢れるものを作っておられました。自分達で作ったものだから愛着が湧き、美味しそうに食べておられました。食後は【うつぐみタイム】です。使った施設をキレイにします。掃き掃除、拭き掃除、水回りと隅から隅まで、徹底的に掃除をしました。そして出発の時間です。今回で活動の垣根を越えて、更に仲良くなった友達と、最後の最後まで談笑を楽しみ、一緒に思い出を振り返っておられました。



<キャンプ総括>

昨年に引き続き、今回もわらべ、京っこメンバーで満員御礼でした。その中で、六年生組はくれよんから参加していただいている方や、一年生からほぼ皆勤の方がおられ、その方々を中心にグループが動いていました。その方々はTOPの活動において、本当に多くの経験をされているので、様々な事を熟知されており、経験値が膨大です。ゆえに、次に何をしないとイケないかの【先見の明】を時にはリーダーより持たれており、本当に頼もしい存在でした。そして、六年生の発言や行動はどれをとっても楽しく、メンバー、リーダー共に、惹きつけられました。下の学年の皆さんは憧れを持ったり、接したり、六年生の存在感は十分に伝わったと思います。帰りの道中にて、ある中学年のメンバーと話をする、「僕は来年から高学年だから、今よりもっとしっかりして、みんなを引っ張っていきたい。」と仰ってくれました。とても嬉しく、既に頼もしいです。こうした想いが芽生える関係が相伝される限り、活動はまだまだ安心して、みんなに任せられます。四月からもみんなで創り上げていきます。どうぞよろしくお願い致します。 （竹中 哲郎）